

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

＜PPP事業部＞

＜広島市可部運動公園＞

新年度に入り、可部運動公園では桜の開花に伴い連日多くの来園者で賑わいました。特に週末においては駐車場も満車状態になる利用状況で、毎年この時期は公園職員により事前に臨時駐車スペースの確保や、運動施設の利用者への配慮といった事前の調整が必要となります。指定管理者として、来園者が施設を訪れ“また来園したい”と感じて頂けるような運営に今年度も務めて参ります。また、今年始めから広島市により、屋外テニスコート2面の改修と段差解消の安全対策として防護フェンスが設置されました。新しいコートは利用開始から多くの利用者に喜ばれ使用されています。



＜広島市留学生会館＞（国際交流・国際協力の拠点）

当会館では4月に新たな30名の留学生入居者を迎え、これからの日本での生活を支援するために、会館オリエンテーション、在留資格の説明会、南警察署による防犯教室等を開きました。最近の傾向として、全く日本語が話せない留学生も増えてきており、日本語も英語でのコミュニケーションも容易でない留学生もいます。何に困っているのか、どうして欲しいのか、言葉だけに頼るのではなく、忍耐強く耳を傾ける必要があります。職員一同目配り、気配りで支援してまいります。

＜広島市中小企業会館＞

新年度に入り4月前半には展示館全面利用（2640㎡）の大型催事が3件開催され、順調なスタートを切ることができました。また当館は展示館（イベント会場）の他、本館には研修室、会議室も兼ね備えており、合わせて駐車場もあります。ご利用希望の方がおられましたら是非ご連絡ください。（問い合わせ先：082-277-4441）

＜SP事業部＞

第60期の始まりにあたり、年間売上1億円を目標に事業部が一丸となって取り組むと共に、関係者に対し安全最優先の意識を高め、無事故、無災害を徹底します。イベント関連業務はコロナ禍前の状態に回復する傾向にあり、来場者の年齢層も幅広くなっています。コロナ禍で学んだ感染拡大を防ぐ換気や手指の消毒は継続して行い、来場される方が安全・安心できるイベント会場づくりを主催者と連携・相談して進めていきます。

＜クレンリネス事業部＞

私たちの仕事は、清掃でいかに綺麗にできるかということも大切ですが、何よりも安全であることが最も重要なことです。怪我をするとどんなに素晴らしい技術を持っていたとしても勤務すること自体ができませんので、安全優先が最も大切であるということを改めて意識して仕事に取り組んでください。清掃業界では「転倒・転落事故」が非常に多く発生しています。階段から足を踏み外す、濡れた床で足を滑らせて転倒するなど、多くの人が休業を余儀なくされてきました。加えて医療関連施設では「針刺し事故」のリスクも高まります。今一度、自身の仕事で危ない点はないか振り返って「安全」を目標に取り組んでください。

＜セキュリティ事業部＞

警備員は年度ごとに10時間以上の現任警備員教育を受講することが義務付けられています。今期の現任警備員教育については、基本教育の研修を5月21日～25日で行う予定ですので、対象の方は必ず出席してください。（詳細については改めてお知らせします）普段顔を合わせる機会の少ない他現場のスタッフとの貴重な意見交換や交流の場にもなり、業務レベルのアップにもつながります。実のある研修にいたしましょう。



<FM事業部>

期首に当たり今年度も事故災害ゼロを最大の目標に掲げ、設備スタッフを充実させることで、安全作業の徹底に全力で取り組んで参ります。また業務においては、ビル管理の新規物件獲得を始め、建物の営繕工事にも力を入れ、不具合箇所の改善提案や月1回の定例会議を通じてお客様と良好な関係を構築し、些細なことでも気軽に相談して頂ける「施設のかかりつけ医」のような存在を目指します。ビルだけではなく個人住宅の工事についても多数の実績があり、ちょっとした床や壁の小修繕から外壁塗装のような大規模工事まで対応できますので、お住いの家や知り合いで悩まれている方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。見積もりだけでもOKです。

<東京支店>

当社では、東京支店事務所を構えるマンション「フォンテ六本木」の区分所有者であると同時に、管理会社としての役割も担っています。そのフォンテ六本木管理組合の定時総会が去る3月31日に開催されました。会計などの通常決議の他に今回は特別決議として「管理規約改正」が議案となっていました。全ての議案が滞りなく承認され総会は終了しました。当マンションの管理規約は管理組合が設立された昭和54年に制定されて以来、民泊や理事の人数など必要箇所のみを修正してきましたが、これまでの44年間で国が定める標準管理規約も大幅に改定され実態に合わなくなってきたことから、今回の全面改訂へと至りました。必要箇所を都度修正することは大切ですが、それによって全体に歪みが生じることもありますので、定期的に大局を見直すことも大事だと、今回の改定作業を通じて認識を新たにしました。

<安全衛生委員会>

新年度早々4/2(火)に転倒事故が発生しました。トイレ清掃を行うためモップを左側の壁に立てかけ、トイレの外に置いてあったカートへ清掃道具を取りに行こうとしたところ、モップに足が引っ掛かり転倒しました(詳細は別紙事故報告)。ほうきやモップを立てかけることで、今回のような転倒事故が発生したり、通行人や施設を利用される方に当たってけがをさせてしまうリスクが生じます。決められた作業手順を守り、「一仕事一片付け」を守っていただき、「事故を起こさない、事故に遭わない」よう日々の仕事に従事してください。ご安全に!!

<磨種(とぎくさ)>

2000年7月、20世紀最後の米国独立記念日を祝う国際観艦式に参加した日本国練習艦隊旗艦“かしま”がニューヨーク港に係留中、Queen Elizabeth IIが接舷時に船尾を“かしま”に接触、同船1等航海士と機関長が謝罪のため乗艦。これに対応した上田勝恵かしま艦長の『幸い損傷軽く気にしておりません。それより女王陛下にキスされ、光栄に存じます』と答えたことが世界各国に伝わり、その言葉のセンスの良さに日本海軍の気質伝統が高く評価されました。

今月、バイデン大統領主催の公式晩さん会に招かれた広島出身の岸田首相は、スピーチの締めで、人気SFドラマ「スタートレック」の名セリフを引用し、“Boldly Go!”(誰もが行ったことのないところへ、果敢に行こう)と目先が利いて几帳面負けじ魂をあらわした呼びかけをしたところ、バイデン大統領夫妻など出席者からグッドジョブと大きな拍手で歓迎されたとのこと。

いずれの話も、「言葉のセンス・持つ力」について考えさせられた次第です。

さて、世界情勢、政治の動向等に目を転じますと、1\$153円の円安傾向が続き、お隣の韓国では総選挙結果が野党に過半数の結果を与え、米国大統領選挙の行方も予測不能、岸田首相帰国後の国民評価にどのような化学変化が出るのか、これも予測不能の現状ですが、我々オオケンは、今日もリンゴの木を植え続けるマルチンルターの言葉の如くアイコスの実践に励むのみです。

第60期に入り期首686名で始まった社員数は既に693名で、7名は共にハローワークからの紹介者ですが、中の一人に専門学校卒で20歳の男性が、お父上がオオケンの受託する某病院でインフェクション・コントロール・サポートシステム・サービス(アイコス)を実践する姿を見て、オオケンに入社をされました。誠に有難い限りです。

次の一手を多彩に持つオオケンは、変動する競争社会の修羅場・土壇場・正念場を平常心で乗り越え、その為にオオケン社員の皆様にはウッカーリ・ボンヤリ事故やケガを皆無にする努力をお願いしているところです。私たち自身が今どうしたら良いのか分からないことや気づけないことがあれば、すぐ傍の同僚先輩上司に聞くと共に、逆にウッカーリ・ボンヤリしていそうな同僚先輩上司がいたら注意喚起してあげる人になりましょう。

今世の中は仕組みが大きく変化しており、それに気づく力・危険予知力・連想力を持つて周りの皆を助け、より安全で安心な行動の出来る人生を送れたらこんな幸せなことは有りません。エッセンシャルワーカーという尊称を世間から頂いた私たちは、この尊称に恥じない仕事を実践したいものです。